

中国社会史学会慈善史専門委員会第5回年次大会 ならびに「慈善と生命：中国と海外の比較と中国の経験」学術研究会通知（第1号）

習近平総書記は「助け合いと救貧救済に立ち向かうことは、中華民族の伝統的な美德である」と述べ、「ボランティア活動や慈善事業の健全な発展を支持するべきである」、「慈善意識を高め、慈善活動に参加し、慈善事業を発展させることは、広範な民衆性を持つ道徳的実践である」と強調した。慈善事業は、国家の歴史的責任および社会的責任を担い、民族の懐の広さと精神的な認識を測る尺度であり、社会の感情的な脈動と人道的な義務を維持する役割を果たしている。中国と海外はそれぞれ長い慈善の伝統と歴史を有しているが、文化的背景の違いにより、慈善には共通点もあれば、異なる点も存在する。中国の慈善思想と実践は長年にわたって継承されてきたものであり、現在では中華民族の現代文明における重要な文化的文脈の一部となっている。慈善と生命に関するテーマにおける中国と海外の比較と中国の経験は、新時代における異文化交流および学術研究の重要な課題となるべきである。

慈善史研究をさらに深めるため、中国社会史学会慈善史専門委員会、杭州師範大学浙江省民国史研究センターおよび国家社会科学基金の重大プロジェクト「中国麻風病（ハンセン病）隔離防疫史料整理と研究（1368-1978）」課題グループは、共同で中国社会史学会慈善史専門委員会第5回年次大会および「慈善と生命：中国と海外の比較と中国の経験」学術大会を開催する予定である。学界の皆様にはご高覧を賜り、ご多忙の中ご出席賜りますようお願い申し上げます。具体的な詳細は以下の通りである。

I 大会テーマ：慈善と生命：中国と海外の比較と中国の経験

【発表分野】

1. 東洋と西洋の慈善史における事例と群像
2. 東アジアの慈善文化と中国の経験
3. 抗戦（日中戦争）時期の慈善と生命に関して
4. 中華人民共和国における感染症予防と慈善
5. 地域別および全域的な慈善の比較研究
6. 中国と海外の慈善団体および慈善人物
7. 中国の慈善精神と時代的価値
8. 中国慈善史資料の発掘と整理
9. 慈善史研究における新たなアプローチと方法
10. その他の慈善史研究に関連して

II 大会日時

2025年10月中旬

III 大会場所

中国浙江省杭州市

IV 参加料金

本回の年次大会では、会議費用は徴収しない。会議の食事および運営費用は主催者が負担する。往復の交通費および宿泊費については、参加者各自の負担となる。

V 参加論文の要件

参加論文は未発表のオリジナル論文であり、学術的な規範に従うこと（論文の形式には脚注を使用すること）。論文の長さは2万字以内に制限される。論文原稿は2025年9月1日までに大会運営担当の指定メールアドレス：donghua@hznu.edu.cn に送付すること。また、参加意向のある学者は、後続の大会運営準備のため、返信用フォームに記入の上、2025年5月1日までに大会運営メールアドレス：donghua@hznu.edu.cn、または1325299906@qq.com に送信すること。

VI 会務連絡先

周東華 donghua@hznu.edu.cn

曾桂林 QQ:1325299906

中国社会史学会慈善史専門委員会
杭州師範大学浙江省民国史研究センター
国家社会科学基金の重大プロジェクト「中国麻風病隔離防疫史料整理と研究」課題グループ

2024年12月12日